

道府縣別	二十年前			十年前			最近三ヶ年合計		
	検診人員	患者數	百分比	検診人員	患者數	百分比	検診人員	患者數	百分比
北海道	1,251	2,000	15.2	1,118	1,900	17.0	6,090	8,000	13.3
東北道	1,251	2,000	15.2	1,118	1,900	17.0	6,090	8,000	13.3
関東道	1,251	2,000	15.2	1,118	1,900	17.0	6,090	8,000	13.3
中部道	1,251	2,000	15.2	1,118	1,900	17.0	6,090	8,000	13.3
近畿道	1,251	2,000	15.2	1,118	1,900	17.0	6,090	8,000	13.3
中国道	1,251	2,000	15.2	1,118	1,900	17.0	6,090	8,000	13.3
四国道	1,251	2,000	15.2	1,118	1,900	17.0	6,090	8,000	13.3
九州道	1,251	2,000	15.2	1,118	1,900	17.0	6,090	8,000	13.3
海	1,251	2,000	15.2	1,118	1,900	17.0	6,090	8,000	13.3
奈	1,251	2,000	15.2	1,118	1,900	17.0	6,090	8,000	13.3
三	1,251	2,000	15.2	1,118	1,900	17.0	6,090	8,000	13.3
愛	1,251	2,000	15.2	1,118	1,900	17.0	6,090	8,000	13.3
静	1,251	2,000	15.2	1,118	1,900	17.0	6,090	8,000	13.3
山	1,251	2,000	15.2	1,118	1,900	17.0	6,090	8,000	13.3
滋	1,251	2,000	15.2	1,118	1,900	17.0	6,090	8,000	13.3
岐	1,251	2,000	15.2	1,118	1,900	17.0	6,090	8,000	13.3
長	1,251	2,000	15.2	1,118	1,900	17.0	6,090	8,000	13.3
宮	1,251	2,000	15.2	1,118	1,900	17.0	6,090	8,000	13.3
福	1,251	2,000	15.2	1,118	1,900	17.0	6,090	8,000	13.3
岩	1,251	2,000	15.2	1,118	1,900	17.0	6,090	8,000	13.3
青	1,251	2,000	15.2	1,118	1,900	17.0	6,090	8,000	13.3
山	1,251	2,000	15.2	1,118	1,900	17.0	6,090	8,000	13.3
秋	1,251	2,000	15.2	1,118	1,900	17.0	6,090	8,000	13.3
福	1,251	2,000	15.2	1,118	1,900	17.0	6,090	8,000	13.3
石	1,251	2,000	15.2	1,118	1,900	17.0	6,090	8,000	13.3
富	1,251	2,000	15.2	1,118	1,900	17.0	6,090	8,000	13.3

111

各府縣別壯丁「トラホーム」検診成績表 (商地)

道府縣別	二十年前			十年前			最近三ヶ年平均		
	検診人員	患者數	百分比	検診人員	患者數	百分比	検診人員	患者數	百分比
北海道	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6
東北道	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6
関東道	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6
中部道	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6
近畿道	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6
中国道	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6
四国道	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6
九州道	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6
海	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6
奈	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6
三	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6
愛	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6
静	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6
山	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6
滋	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6
岐	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6
長	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6
宮	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6
福	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6
岩	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6
青	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6
山	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6
秋	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6
福	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6
石	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6
富	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6
合	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6	3,570	2,000	5.6

110

道府縣別	二十年前			十年前			最近三ヶ年合計		
	検診人員	患者數	百分比	検診人員	患者數	百分比	検診人員	患者數	百分比
京大	14	1	1.0	15	6	6.0	10	1	10.0
神兵	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
長新	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
埼玉	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
群馬	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
茨城	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
栃木	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
奈良	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
三重	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
愛知	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
静岡	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
山梨	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
滋賀	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
岐阜	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
長崎	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
宮崎	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
福岡	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
山口	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
徳島	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
香川	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
愛媛	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
高知	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
福岡	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
大分	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
佐賀	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
熊本	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
鹿嶋	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
宮崎	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
鹿児島	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
沖縄	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
合計	14	1	1.0	15	6	6.0	10	1	10.0

一一三

各府縣別「ト」トラホーム」検診成績表 (農村平地)

道府縣別	二十年前			十年前			最近三ヶ年合計		
	検診人員	患者數	百分比	検診人員	患者數	百分比	検診人員	患者數	百分比
京大	14	1	1.0	15	6	6.0	10	1	10.0
神兵	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
長新	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
埼玉	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
群馬	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
茨城	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
栃木	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
奈良	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
三重	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
愛知	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
静岡	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
山梨	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
滋賀	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
岐阜	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
長崎	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
宮崎	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
福岡	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
山口	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
徳島	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
香川	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
愛媛	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
高知	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
福岡	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
大分	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
佐賀	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
熊本	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
鹿嶋	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
宮崎	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
鹿児島	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
沖縄	1	1	1.0	1	1	1.0	1	1	1.0
合計	14	1	1.0	15	6	6.0	10	1	10.0

一一三



道府縣別	二十年			十九年			最近三ヶ年合計		
	検査人員	患者数	百分比	検査人員	患者数	百分比	検査人員	患者数	百分比
山 口 県	1,012	1,127	21.2	3,019	1,977	25.94	6,892	8,399	24.04
和 歌 山 県									
徳 島 県									
香 川 県									
愛 媛 県									
高 知 県									
福 岡 県				18,231	3,916	2.38	26,880	5,440	2.39
大 分 県									
佐 賀 県									
熊 本 県									
宮 崎 県									
鹿 嶋 県									
神 奈 川 県									
合 計	25,757	21,031	110.2	127,310	26,886	2.38	1,232,399	242,065	19.64

各府縣別其他の「トラホーム」検査成績表（農村平地）

道府縣別	二十年			十九年			最近三ヶ年合計		
	検査人員	患者数	百分比	検査人員	患者数	百分比	検査人員	患者数	百分比
北 海 道	2,756	3,551	128.1	2,848	3,556	125.1	4,457	5,257	117.0
東 京 道									
京 都 府									
大 阪 府									
神 戸 府									
兵 庫 府									
合 計	2,756	3,551	128.1	2,848	3,556	125.1	4,457	5,257	117.0

道府縣別	二十年			十九年			最近三ヶ年合計		
	検査人員	患者数	百分比	検査人員	患者数	百分比	検査人員	患者数	百分比
北 海 道	2,756	3,551	128.1	2,848	3,556	125.1	4,457	5,257	117.0
東 京 道									
京 都 府									
大 阪 府									
神 戸 府									
兵 庫 府									
和 歌 山 県	1,111	1,352	121.7	1,166	1,311	112.4	5,553	6,437	115.0
廣 島 県									
岡 山 県									
鳥 取 県									
島 根 県									
石 川 県									
福 井 県									
秋 田 県									
山 形 県									
青 森 県									
岩 手 県									
福 馬 県									
宮 城 県									
長 野 県									
岐 阜 県									
滋 賀 県									
山 梨 県									
静 岡 県									
愛 知 県									
三 重 県									
奈 良 県									
和 歌 山 県									
美 濃 県									
新 潟 県									
埼 玉 県									
群 馬 県									
千 葉 県									
茨 城 県									
栃 木 県									
茨 城 県									
千 葉 県									
群 馬 県									
埼 玉 県									
新 潟 県									
合 計	25,757	21,031	110.2	127,310	26,886	2.38	1,232,399	242,065	19.64

道府縣別	二十一年前		十一年前		最近三ヶ年合計	
	檢診人員數	百分比	檢診人員數	百分比	檢診人員數	百分比
德島	一、五五〇	三・六	一、五九〇	三・六	一、八三二	三・五
香川	五、六	〇・〇	五、六	〇・〇	四、一〇〇	一・〇
愛媛	一、五	〇・〇	一、五	〇・〇	一、〇一〇	〇・三
高知	一、五	〇・〇	一、五	〇・〇	一、〇一〇	〇・三
福岡	一、五	〇・〇	一、五	〇・〇	一、〇一〇	〇・三
大分	一、五	〇・〇	一、五	〇・〇	一、〇一〇	〇・三
佐賀	一、五	〇・〇	一、五	〇・〇	一、〇一〇	〇・三
熊本	一、五	〇・〇	一、五	〇・〇	一、〇一〇	〇・三
鹿嶋	一、五	〇・〇	一、五	〇・〇	一、〇一〇	〇・三
神戶	一、五	〇・〇	一、五	〇・〇	一、〇一〇	〇・三
兒島	一、五	〇・〇	一、五	〇・〇	一、〇一〇	〇・三
計	一四、九三三	三・三	一四、九三三	三・三	一五、〇〇〇	三・五
合計	一四、九三三	三・三	一四、九三三	三・三	一五、〇〇〇	三・五

職業別「トラホーム」檢診成績表

(昭和二年新潟縣)

職業別	山		平		海		町		農		漁		計	
	檢診人員數	百分比	檢診人員數	百分比	檢診人員數	百分比	檢診人員數	百分比	檢診人員數	百分比	檢診人員數	百分比		
1 農耕畜産	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七
2 林業	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七
計	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七

職業別	計(1)		計(2)		計(3)		計(4)	計(5)	計(6)	計(7)	計(8)	計(9)	計(10)
	檢診人員數	百分比	檢診人員數	百分比	檢診人員數	百分比							
1 農耕畜産	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六
2 林業	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六
3 漁業製鹽	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六
4 探採冶金	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六
5 土石採取	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六
6 窯業	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六
7 金屬工業	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六
8 機械器具製造業	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六
9 化學工業	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六
10 纖維工業	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六
計	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	三・七	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六	一、四〇六

運26 輸業	通27 信業	計 (5)	商共26 業他	等店旅25 宿場飲食	業物24 品預貨	業金23 融保險	業媒22 介周旋	業物21 品販賣	計 (4)	職 業 別	山		平		海		計		町		部		農		村		漁		村		計	
											人員 數	患者 百分 比	人員 數	患者 百分 比	人員 數	患者 百分 比	人員 數	患者 百分 比	人員 數	患者 百分 比	人員 數	患者 百分 比	人員 數	患者 百分 比	人員 數	患者 百分 比	人員 數	患者 百分 比	人員 數	患者 百分 比	人員 數	患者 百分 比
男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	山	平	海	計	町	部	農	村	漁	村	計	町	部	農	村	漁	村	計	町	部	農	村	
男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	山	平	海	計	町	部	農	村	漁	村	計	町	部	農	村	漁	村	計	町	部	農	村	

工共20 業他	業其19 業力	造裝學18 業飾藝製樂	製製17 本版業刷	業士16 木建築	造廻被15 服身ノ	造製14 好食品	造關木13 關スル製	製甲皮12 羽革骨角	紙11 工業	職 業 別	山		平		海		計		町		部		農		村		漁		村		計	
											人員 數	患者 百分 比	人員 數	患者 百分 比	人員 數	患者 百分 比	人員 數	患者 百分 比	人員 數	患者 百分 比	人員 數	患者 百分 比	人員 數	患者 百分 比	人員 數	患者 百分 比	人員 數	患者 百分 比	人員 數	患者 百分 比	人員 數	患者 百分 比
男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	山	平	海	計	町	部	農	村	漁	村	計	町	部	農	村	漁	村	計	町	部	農	村	
男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	男 一 女 一	山	平	海	計	町	部	農	村	漁	村	計	町	部	農	村	漁	村	計	町	部	農	村	

備考 海岸の農業は半農半漁なり

Table with columns for various professions: 計(7), 計(8), 計(9), 計(10), and 合計. Each column contains sub-columns for male and female counts and percentages. The data is organized into several rows representing different categories.

Table with columns for professions: 計(6), 計(7), 計(8), 計(9), 計(10), 計(11), 計(12), 計(13), 計(14), 計(15), 計(16), 計(17), 計(18), 計(19), 計(20), 計(21), 計(22), 計(23), 計(24), 計(25), 計(26), 計(27), 計(28), 計(29), 計(30), 計(31), 計(32), 計(33), 計(34), 計(35), 計(36), 計(37). Each column contains sub-columns for male and female counts and percentages. The data is organized into several rows representing different categories.

新潟縣接客業者「トラホーム」検診成績表 (新潟縣 昭和二年)

業種	性別	明治四十二年					大正五年					大正十三年					大正十四年					大正十五年				
		検診者数	検診回数	検診回数	検診回数	検診回数	検診者数	検診回数	検診回数	検診回数	検診回数	検診者数	検診回数	検診回数	検診回数	検診回数	検診者数	検診回数	検診回数	検診回数	検診回数	検診者数	検診回数	検診回数	検診回数	
宿屋	男	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	
料理屋	男	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	
理髪業	男	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	
貸座敷	男	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	
飲食物販賣業	男	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	
飲食物	男	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	
劇場寄席	男	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	
興業場	男	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	
按摩鍼灸	男	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	
湯屋	男	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	
温泉浴場	男	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	
自働車乗務員	男	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	
人力車業	男	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	
産婆	女	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	
看護婦	女	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	
藝妓	女	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	
娼妓	女	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	1,166	

備考



## 第四章 各種衆團生活と「トラホーム」

### 第一節 工場に於ける「トラホーム」の分布並消長

我國工場従業者の「トラホーム」消長を見るに

二十年前	九・六一% (一道九縣)
十年前	一・三六% (十六府縣)
最近三年平均	八・三六% (三十六府縣)

の患者率を示し之れを一般住民並其他の「トラホーム」が累年著しく減少せるに比すれば一見奇異の觀なき能はず。乍然今より二十年前は尙未だ嚴格なる意味の検診を施行せる地方少なく、且検診人員少なきを以て其の眞想を窺ひ難しと雖も十年前以來、即工場法施行以來(此れとて府縣により検診せるあり然らざるものあり)の數は大體に於て倍するを得べく、果して、然りとせば今日の工場「トラホーム」率は其當時に比し餘程減少せるものと云ふべし。

#### 一、各府縣工場比較

次に各府縣に於ける罹病率を比較するに附表の如く、静岡、青森、鹿兒島、大分、福井、岡山等は多き方にして群馬、千葉、滋賀、岐阜、長野、富山、鳥取、京都等は最も低率の方に屬し、其他は中位に在り。

#### 二、新潟縣工場「トラホーム」推移

新潟縣下工場「トラホーム」の推移に就ても信するに足る統計材料なきも、只大正三年—八年に至る間は本縣技衛員に依り施行せられたるものなるを以て此れに就て觀察するに次表の如く。



新潟縣工場従業者年次別検診成績表

年次	検診人員	患者数	%
大正三年	一〇、八六二	三、三三六	二九・九二
大正四年	九、〇六一	一、七七九	一八・五二
大正五年	一〇、三七二	一、五四一	一四・八六
大正六年	一一、八八五	一、七九七	一五・二二
大正七年	一〇、三六一	一、五二三	一四・七〇
大正八年	一〇、八六〇	九二七	八・五四

大正三年三〇%を算せるも、爾後順調に遞減し同八年には一〇%以下に低下し來りたり。

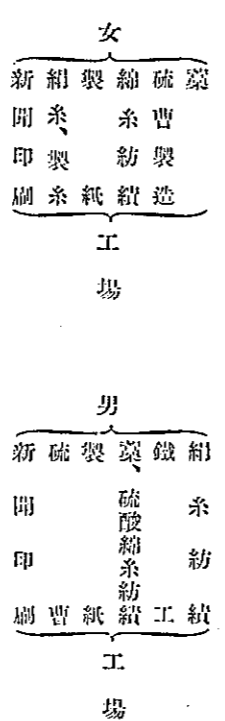
### 三、従業種類別 (新潟縣)

更に右を従業種類別となし、此れ等従業者の「トラホーム」罹病比較を爲すに別表の如く、尙當時彼等の罹病率著しく高率なりしは表の確認せしむる處(平均一七・二二%)、殊に女は男に比し遙かに多きこと他の「トラホーム」統計と異なる處なり、之れを従業別に觀察するに

男は 鑛山、製紙、カーバイト導火線、醸造、石油、製糖、製綿、其他、鐵工、機業並染色、印刷等何れも一〇%以上にして其他は之れ以下に屬し。  
 女は 鑛山、醸造、製紙、製綿、機業並染色、石油、鐵工、白玉ラムネ、製組、其他等何れも十五%以上の高率を示し之れに次ぐは炭炭、カーバイト導火線、製糸、印刷、プレス等なり。  
 男女共 鑛山、石油、醸造、製紙、製綿、製組、其他、機業並染色等。

にして就中 鑛山は男女共異常の高率を示し、石油、醸造、製紙、製綿等又動もすれば鑛山と肩を摩せんとする勢を示せり。

爾來縣下「トラホーム」の検診は工場側に一任せられたるも、今回(本年)更めて縣技術員をして検診せしめたる成績は九・四七%にして、大正八年に比し大差なく、此れを従業種類別となせば次の如し。



の順位となり男女共最低率なるは印刷工場、又男女平均に於て高率なるは鑛、硫曹、綿絲紡績の順序なり。

工場従業者の通勤及寄宿の別により「トラホーム」の多寡を比するに、通勤者は平均七・四三%にして、寄宿者は平均一一・一四%なり。乍然右寄宿者に本病多きを以て直ちに寄宿生活と「トラホーム」との間に特殊の因縁あるが如く考ゆれば早計にして、先づ之れを男女に分ち見るときは別表の如く。

通勤		寄宿	
女	一三・〇九%	男	一一・四八%
男	五・五五%	女	七・七八%

の割合にして寄宿者の殆んど全部を占むる(寄宿女一二九男一二八)女は、寧ろ低率にして、却つて通勤者高率を示し、寄宿者極めて少数なる男は寄宿者に本病多きを以てなり。即吾等の調査にては通勤寄宿の間に罹病率に大なる庭徑なき成績を示せり。

### 五、工場生活者罹病時期調

工場生活が「トラホーム」の多寡に影響するには、工場に於ける衛生的設備、之れを使用する者の衛生的智識、並工場生活持續等を條件とするや勿論なれども、此れに先ちて尙考慮せざるべからざるは彼れ等工場生活者は、工場生活に入る以前既に本病を所有し居たるにあらずやの問題なり。今此の最後の點に就き調査したるに其成績次表の如く。

合 計	小學校時代ヨリノモノ		工場醫檢診ノ結果ニヨルモノ		本縣技術員ニヨリ發見サレタルモノ		通 勤		寄 宿		通 勤		寄 宿		通 勤		寄 宿		合 計	
	計	患者數	計	患者數	計	患者數	計	患者數	計	患者數	計	患者數	計	患者數	計	患者數	計	患者數	計	患者數
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
計	15	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
女	7	5	7	5	7	5	7	5	7	5	7	5	7	5	7	5	7	5	7	5
男	8	5	3	5	3	5	3	5	3	5	3	5	3	5	3	5	3	5	3	5
患者數	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
百分比	66.7	50.0	70.0	50.0	70.0	50.0	70.0	50.0	70.0	50.0	70.0	50.0	70.0	50.0	70.0	50.0	70.0	50.0	70.0	50.0

即男女共通動と云ひ、寄宿と言はず、殆んど其大部分(合計七五・〇%)は何れも皆小學校通學時代既に「トラホーム」の宣告を受け居たるものにして、残り二五%の内九・六四%は疑はしく、眞に舍内感染かと認めらるゝは、寄宿患者總數の一六・%なり。(之れとて常に外部との接觸あるを以て全部舍内感染と認むべきや否疑問なり)。

六、作業場の明暗との關係

工場「トラホーム」檢診に當り、殊に作業場に就き其の明暗に關する觀察をなせり。十種工場中比較的暗所に作業をなすは硫酸工場(製薬)鐵工場(殊に鐵工、旋盤工、道具工、塗工、材料工)硫酸製造工場(製薬、人造肥料製造)の三種にして他の七種は何れも明處に作業をなす。

之を平均するときは明處作業員の「トラホーム」は九・九六%、暗所作業員の「トラホーム」は六・二一%にして、寧ろ明處作業員に本病多きを

結果を得たり。實際の處恐らく「トラホーム」は作業場面の明暗には關係なかるべし。

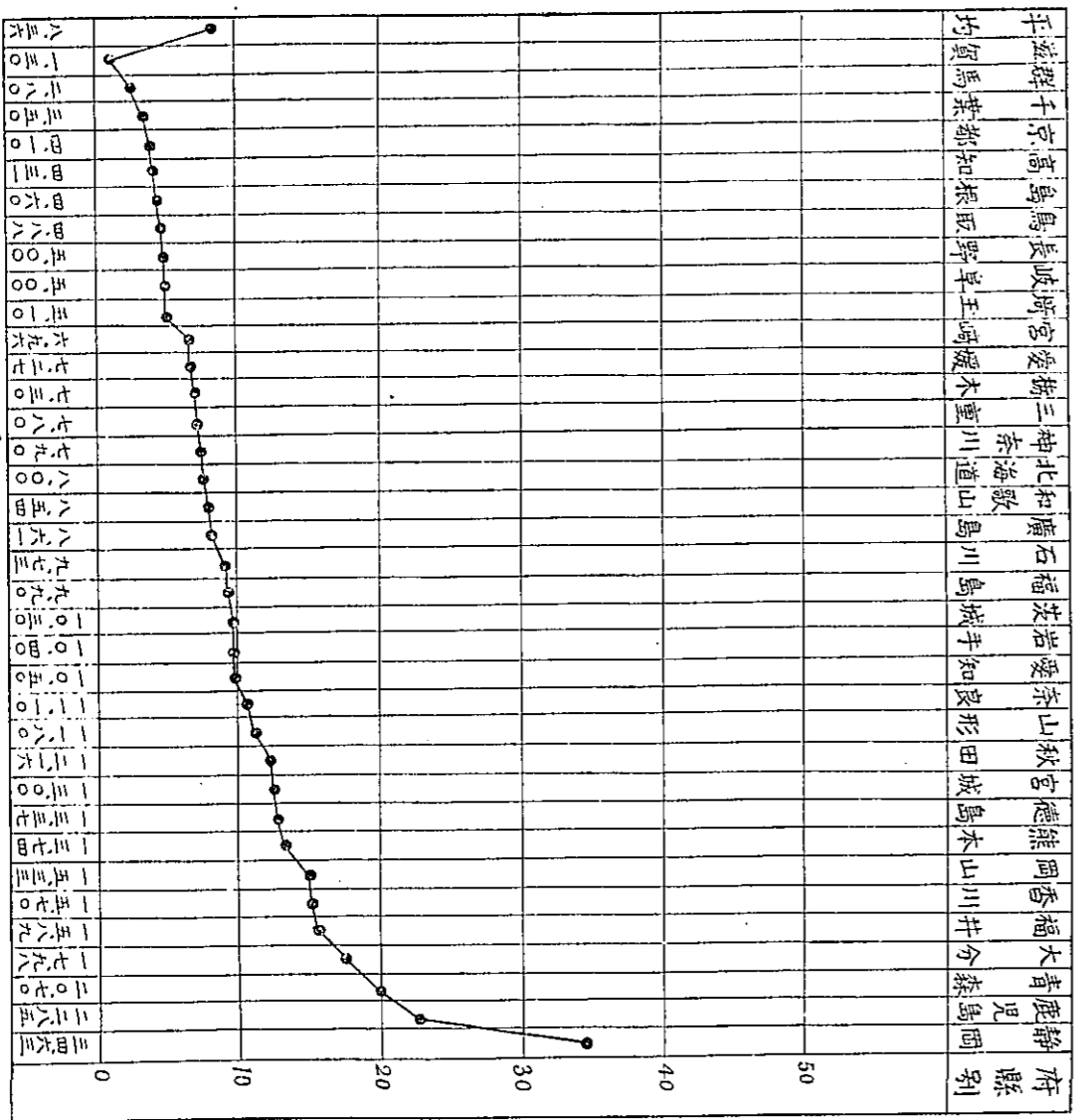
以上に依て見るに従業種類に依り「トラホーム」罹病率に差あるも、是れを以て直ちに工場生活其もの、罪に歸せんとするは穩當ならず、蓋し工場生活の影響最も多かるべき寄宿者に本病少なく、却て通勤に多く、又寄宿者中大數は工場生活前既に本病を有したるを以てなり。さは云へ工場内感染と認むべきもの一六%内外あるを以て若し夫れ工場生活(例へば同食、物件共用等の如き)にして不衛生的ならんか場内流行従つて劇しかるべきは當然豫想し置かざるべからず。(以下工場諸表参照)

各府縣別工場従業者「トラホーム」檢診成績

(大正十三—十五年は内務省調査に依り其他は本縣調査)

道府縣別	二十年 前		十 年 前		大正十三年		大正十四年		大正十五年		三ヶ年 合計	
	人員	患者數	人員	患者數	人員	患者數	人員	患者數	人員	患者數	人員	患者數
北海道	15,455	1,332	10,600	756	7,704	704	9,133	6,155	4,566	3,700	18,437	1,407
東北	1,525	1,332	1,000	756	7,704	704	9,133	6,155	4,566	3,700	18,437	1,407
東京	1,525	1,332	1,000	756	7,704	704	9,133	6,155	4,566	3,700	18,437	1,407
大阪	1,525	1,332	1,000	756	7,704	704	9,133	6,155	4,566	3,700	18,437	1,407
神奈川	1,525	1,332	1,000	756	7,704	704	9,133	6,155	4,566	3,700	18,437	1,407
兵庫	1,525	1,332	1,000	756	7,704	704	9,133	6,155	4,566	3,700	18,437	1,407
長崎	1,525	1,332	1,000	756	7,704	704	9,133	6,155	4,566	3,700	18,437	1,407
新潟	1,525	1,332	1,000	756	7,704	704	9,133	6,155	4,566	3,700	18,437	1,407
群馬	1,525	1,332	1,000	756	7,704	704	9,133	6,155	4,566	3,700	18,437	1,407
茨城	1,525	1,332	1,000	756	7,704	704	9,133	6,155	4,566	3,700	18,437	1,407
栃木	1,525	1,332	1,000	756	7,704	704	9,133	6,155	4,566	3,700	18,437	1,407
奈良	1,525	1,332	1,000	756	7,704	704	9,133	6,155	4,566	3,700	18,437	1,407
三重	1,525	1,332	1,000	756	7,704	704	9,133	6,155	4,566	3,700	18,437	1,407
愛知	1,525	1,332	1,000	756	7,704	704	9,133	6,155	4,566	3,700	18,437	1,407
静岡	1,525	1,332	1,000	756	7,704	704	9,133	6,155	4,566	3,700	18,437	1,407
山梨	1,525	1,332	1,000	756	7,704	704	9,133	6,155	4,566	3,700	18,437	1,407
滋賀	1,525	1,332	1,000	756	7,704	704	9,133	6,155	4,566	3,700	18,437	1,407
岐阜	1,525	1,332	1,000	756	7,704	704	9,133	6,155	4,566	3,700	18,437	1,407
岐阜	1,525	1,332	1,000	756	7,704	704	9,133	6,155	4,566	3,700	18,437	1,407
岐阜	1,525	1,332	1,000	756	7,704	704	9,133	6,155	4,566	3,700	18,437	1,407

道府縣別	二十年前		十年前		大正十三年		大正十四年		大正十五年		三ヶ年合計	
	人員	患者數	人員	患者數	人員	患者數	人員	患者數	人員	患者數	人員	患者數
長野	4,255	6,280	4,135	4,905	5,200	5,400	5,000	4,900	5,800	5,300	5,000	5,000
宮城	4,255	6,280	4,135	4,905	5,200	5,400	5,000	4,900	5,800	5,300	5,000	5,000
福島	4,255	6,280	4,135	4,905	5,200	5,400	5,000	4,900	5,800	5,300	5,000	5,000
岩手	4,255	6,280	4,135	4,905	5,200	5,400	5,000	4,900	5,800	5,300	5,000	5,000
青森	4,255	6,280	4,135	4,905	5,200	5,400	5,000	4,900	5,800	5,300	5,000	5,000
山形	4,255	6,280	4,135	4,905	5,200	5,400	5,000	4,900	5,800	5,300	5,000	5,000
秋田	4,255	6,280	4,135	4,905	5,200	5,400	5,000	4,900	5,800	5,300	5,000	5,000
福井	4,255	6,280	4,135	4,905	5,200	5,400	5,000	4,900	5,800	5,300	5,000	5,000
石川	4,255	6,280	4,135	4,905	5,200	5,400	5,000	4,900	5,800	5,300	5,000	5,000
富山	4,255	6,280	4,135	4,905	5,200	5,400	5,000	4,900	5,800	5,300	5,000	5,000
島根	4,255	6,280	4,135	4,905	5,200	5,400	5,000	4,900	5,800	5,300	5,000	5,000
岡山	4,255	6,280	4,135	4,905	5,200	5,400	5,000	4,900	5,800	5,300	5,000	5,000
広島	4,255	6,280	4,135	4,905	5,200	5,400	5,000	4,900	5,800	5,300	5,000	5,000
山口	4,255	6,280	4,135	4,905	5,200	5,400	5,000	4,900	5,800	5,300	5,000	5,000
和歌山	4,255	6,280	4,135	4,905	5,200	5,400	5,000	4,900	5,800	5,300	5,000	5,000
徳島	4,255	6,280	4,135	4,905	5,200	5,400	5,000	4,900	5,800	5,300	5,000	5,000
香川	4,255	6,280	4,135	4,905	5,200	5,400	5,000	4,900	5,800	5,300	5,000	5,000
愛媛	4,255	6,280	4,135	4,905	5,200	5,400	5,000	4,900	5,800	5,300	5,000	5,000
高知	4,255	6,280	4,135	4,905	5,200	5,400	5,000	4,900	5,800	5,300	5,000	5,000
福岡	4,255	6,280	4,135	4,905	5,200	5,400	5,000	4,900	5,800	5,300	5,000	5,000
大分	4,255	6,280	4,135	4,905	5,200	5,400	5,000	4,900	5,800	5,300	5,000	5,000
佐賀	4,255	6,280	4,135	4,905	5,200	5,400	5,000	4,900	5,800	5,300	5,000	5,000
熊本	4,255	6,280	4,135	4,905	5,200	5,400	5,000	4,900	5,800	5,300	5,000	5,000
鹿島	4,255	6,280	4,135	4,905	5,200	5,400	5,000	4,900	5,800	5,300	5,000	5,000
沖繩	4,255	6,280	4,135	4,905	5,200	5,400	5,000	4,900	5,800	5,300	5,000	5,000
合計	126,900	177,621	126,340	173,533	126,555	174,803	126,455	174,655	126,555	174,655	126,555	174,655



工場通勤寄宿別トラホーム患者表

(新潟縣昭和二年)

工場名	性		別	通		%	寄		%	宿		%	計		%
	男	女		患者数	検診人員		患者数	%		患者数	%		患者数	%	
合 計	1,014	1,014	2,028	1,014	1,014	100.0	1,014	1,014	100.0	1,014	1,014	100.0	1,014	1,014	100.0
製紙工場	100	100	200	100	100	100.0	100	100	100.0	100	100	100.0	100	100	100.0
製絲工場	100	100	200	100	100	100.0	100	100	100.0	100	100	100.0	100	100	100.0
新聞印刷部	100	100	200	100	100	100.0	100	100	100.0	100	100	100.0	100	100	100.0
硫酸株式会社	100	100	200	100	100	100.0	100	100	100.0	100	100	100.0	100	100	100.0
鐵工場	100	100	200	100	100	100.0	100	100	100.0	100	100	100.0	100	100	100.0
硫曹會社	100	100	200	100	100	100.0	100	100	100.0	100	100	100.0	100	100	100.0
製紙工場	100	100	200	100	100	100.0	100	100	100.0	100	100	100.0	100	100	100.0
製工場	100	100	200	100	100	100.0	100	100	100.0	100	100	100.0	100	100	100.0
製工場	100	100	200	100	100	100.0	100	100	100.0	100	100	100.0	100	100	100.0

作業場の明暗別工場「トラホーム」表

(昭和二年新潟縣)

工場名	性		別	明		%	暗		%	計		%
	男	女		患者数	検診人員		患者数	%		患者数	%	
合 計	1,014	1,014	2,028	1,014	1,014	100.0	1,014	1,014	100.0	1,014	1,014	100.0
製紙工場	100	100	200	100	100	100.0	100	100	100.0	100	100	100.0
製絲工場	100	100	200	100	100	100.0	100	100	100.0	100	100	100.0
新聞印刷部	100	100	200	100	100	100.0	100	100	100.0	100	100	100.0
硫酸株式会社	100	100	200	100	100	100.0	100	100	100.0	100	100	100.0
鐵工場	100	100	200	100	100	100.0	100	100	100.0	100	100	100.0
硫曹會社	100	100	200	100	100	100.0	100	100	100.0	100	100	100.0
製紙工場	100	100	200	100	100	100.0	100	100	100.0	100	100	100.0
製工場	100	100	200	100	100	100.0	100	100	100.0	100	100	100.0
製工場	100	100	200	100	100	100.0	100	100	100.0	100	100	100.0

工場名	検査人員		患者数	
	男	女	計	割合
製糖工場	105	105	210	...
製紙工場	105	105	210	...
製鐵工場	105	105	210	...
硫酸會社	105	105	210	...
平均	105	105	210	...

従業種類別工場「トランプホーム」検査成績表(新島昭和三年)

新島縣工場従業者「トランプホーム」検査成績表

工場名	性別	検査人員		患者数	
		男	女	計	割合
製糖	男	117	117	234	...
	女	117	117	234	...
製紙	男	117	117	234	...
	女	117	117	234	...
製織	男	117	117	234	...
	女	117	117	234	...
印刷	男	117	117	234	...
	女	117	117	234	...
鑛山	男	117	117	234	...
	女	117	117	234	...
石油	男	117	117	234	...
	女	117	117	234	...
鐵工	男	117	117	234	...
	女	117	117	234	...
火力	男	117	117	234	...
	女	117	117	234	...

工場名	性別	大正三年		大正四年		大正五年		大正六年		大正七年		大正八年	
		人口	患者数	人口	患者数	人口	患者数	人口	患者数	人口	患者数	人口	患者数
硝子製造	計	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100
	男	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50
白王及ラムネ	計	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100
	男	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50
製綿	計	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100
	男	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50
ブレード	計	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100
	男	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50
醸造業	計	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100
	男	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50
其他	計	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100
	男	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50
合計	計	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100
	男	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50

工場従業者「トラホーム」検診成績表

(自大正三年合計新潟縣至大正八年合計新潟縣)

職業別	性別	大正三年		大正四年		大正五年		大正六年		大正七年		大正八年	
		人口	患者数	人口	患者数	人口	患者数	人口	患者数	人口	患者数	人口	患者数
製絲	計	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100
	男	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50
機業及及染色	計	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100
	男	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50

職業別	性別	大正三年		大正四年		大正五年		大正六年		大正七年		大正八年	
		人口	患者数	人口	患者数	人口	患者数	人口	患者数	人口	患者数	人口	患者数
製紙	計	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100
	男	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50
製刷	計	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100
	男	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50
鑛山	計	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100
	男	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50
石油	計	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100
	男	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50
鐵工場	計	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100
	男	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50
カミ	計	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100
	男	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50
合計	計	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100	1,000	100
	男	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50	500	50

第二節 學校

學校生活殊に小學校に於けるそれが、「トラホーム」蔓延に多大の便宜を與ふるものなりとは古來一般に信ぜられたる處なり。其理由として洗面器、手拭の共用、教授用具、其他器具類の轉用、兒童自體の接觸等は最も屢々擧げらるる事項の如し。只「School」は學校を以て主なる「トラホーム」感染の場所と見做さず、却つて家庭を以て主なる媒介所と見、其理由として「予の三十五年間の經驗に徴するに、醫師、看護婦は日々幾多の「トラホーム」患者に接するも罹病せず、病院の「トラホーム」患者が他患と同居するも亦然り。而して上流の家庭には本病甚稀なり。即住居、衣服、身體の攝生等其宜しきを得るの然らしむる故ならん」と云へり。勿論學校と云ひ家庭と云ふ只此れに居住する者の生活狀態如何に依り「トラホーム」の多寡消長に相異を來すものなるを以て、一概に論じ得ざるや論なく、要は只大數の上より見て決すべきのみ。

第一、小學兒童

河本博士は明治三十六年各地の小學校兒童「トラホーム」の統計を集めて「日本の小學校にては縣と郡及學校に依り差あらんも恐らく三〇%即一校の三分の一は「トラホーム」を疾むが普通ならんかと」云へり。  
 歐洲の諸學校に於ても十八世紀の末葉頃迄は可也多かりしもの、如く、就中露、伊、和蘭等に甚しく和蘭に於ては七六・七% (Limbeck)、露國に於てはドルバート大學所在地六二% (Gustav, Rutel)、中部の某所に於ては五〇%の「トラホーム」を見しと云ふ。併し露國にては當時尙臆胞と「トラホーム」を區別せず計算せる人多ければ多少考慮を要すと云はる。

學校「トラホーム」の罹病率を以て直ちに其他の一般「トラホーム」の蔓延程度を推定するは至難なるも、學校「トラホーム」の半ばと見ば可ならんとの推定をなすものあり (Griegs)、一應興味ある問題なるが如く、  
 日本に於ける此の關係は如何と見るに (此の機會に於て各種檢診別比較をも併せて觀察すれば)、大要次の如き面白き對照を得べし。

一、小學兒童と其他との「トラホーム」消長比較 (各數字ハ患者%)

	全 國			本 縣		
	二十年前	十年前	最近三年平均	二十年前	十年前	最近三年平均
小學兒童	二二・四三	一六・五九	一四・一七	一三・五九	一三・一三	一一・五七
壯丁豫備檢診	二二・一〇	一六・三〇	一四・五〇	二五・二〇	一七・九〇	七・三〇
徵兵檢査	二二・一四	一八・六六	一三・八三	二一・六一	一五・二二	八・五八
接客營業者	八・九四	五・一三	七・二四	一九・七八	一一・四五	三・八〇
一般住民	一〇・八二	七・八二	一二・〇五	二一・六五	一四・一三	一一・六七

備考

- 一、全國二十年前は十三道府縣の事實
- 二、全國十年前は十九道府縣の事實
- 三、全國最近三年は三十四道府縣の事實
- 四、接客業者其他も大體右同
- 五、新潟縣明治三十六年小學兒童に就き特に檢査したる成績は三一・二三とあり (當時河本博士の建築に基き縣に於て調査したるもの)
- 六、學童身體檢査に従事する醫師は古き時代に於ては其「トラホーム」に關する智能程度極めて區々なるを以て右各種檢診中最も信を置き難き統計なれども其數の大量なる丈大量觀察の資料として取るに足らんか。

即全國の大勢に於ては小學兒童の「トラホーム」は一般住民より多く、新潟縣下の成績にては却つて少なきを示せり。果して何れが實際なるべきかを解決すべく更に本縣技術員をして一般並に學童を同時に檢査せしめたる結果は次の如く

小 一	學 兒	童 般	檢 診 人 員	患 者	%
			三九、五八四	三、六〇五	九・一八
			八、一一一	一、〇四四	一二・八七

にして明かに全國の現象を肯定する成績を得たり (但し一般中には學童をも含む若し之を別に取扱へば更に一層其間隔を増す)。蓋し直に近き數ならんか、同時に又グレイフェの想像をも事實に證明したる譯なり。

二、小學校に於ける「トラホーム」感染問題

(一) 感染の事實

殊に右の現象は小學校生活が兒童「トラホーム」媒介の主要條件なりてふ説を助成するものにして、遂に宮城及本縣に於て調査せる就學時期より忽然として罹病率の由を爲すの點は益々前説に有力なる支柱を興ゆるものと云ふべく、實際全然「トラホームフライ」の家庭の兒女が就學後幾何もなく罹病せる事例決して少なからず。自分も亦其經驗者の一人にして、口さがなき有識階級の士が學校は兒童傳染病の媒介所云々』と云ふも決して夢言にあらざるを感ずるものなり。

(二) 就學前身體檢査と「トラホーム」

學校(殊に小學)生活が本病感染の機會を醸成するは以上の事實に徴し否む能はざる處なるも、更に大なる媒地は寧ろ家庭及兒童相互の群遊にあること次の本縣に於ける事實の如き最も有力に此の間の消息を物語るものと云ふ可し。

本縣に於ても大正十五年「就學前身體檢査規程」を設け爾來縣下一齊に施行しつゝあるものなるが、昭和二年度の成績を見るに

檢 診 人 員	二七、八八三
患 者	三、三六四
%	一二・〇六

にして大部分は既に帶患状態にて就學するの事實を發見したり。茲に於て更に之れ等兒童の就學後の状態を調査するに、例へば新潟市の就學前後罹病比較次の如く、

就學前 (昭和二年二月)	計		検査人員	患者	%
	男	女			
就學前	1,170	1,103	1,290	1,170	9.21
就學後 (同年五月)	1,113	2,473	1,294	1,940	16.13
計	2,283	3,576	2,584	3,110	12.58

元より就學前後の間に兒童の移動相當あるべきを以て、極めて嚴格なる比較は困難なるも大體に八割一、二歩は帶患就學するものにして、而も右就學前後の差數中、大部は家庭其他、小部は校内感染と測量せば大過なからんか。兎に角以上の事實は一方唯校内感染論者に一誅を加ゆると同時に、他方校内非感染論者にも一大警告を與ゆるものと云ふべし。

(三) 學年別より見たる感染問題

一般住民検診成績より見れば概して年齢の遞加と罹患率の遞増とは(一〇—三〇歳は稍下るも)殆んど併行するに、學童就學後の各歲別罹病率を見るに十二—三歳迄殆んど地平線を走ること添付文部省統計の示す處なり。乍然此れを以て校内感染を否定し又は年齢的等差に疑惑を挿むは早計なり、蓋し小學兒童は約五〇%若くはそれ以上治療を行ひ三〇%内外の治療者を出しつゝあるが爲なり。従つて校内感染相當ありとするも治療と相殺する結果右の如き地平線を畫くものと見るは至當なるが如し。

三、各府縣に於ける小學校と「トラホーム」

次に全國小學校に於ける「トラホーム」分布の状況を見るに

二十年前 (順位)		十年前	
青森	三四・六一	福井	二三・六〇
滋賀	三二・二六	北海道	二一・六四
茨城	三〇・〇三	静岡	一五・八四
		愛媛	一五・〇三
		新潟	一三・五九
		平均	一八・二四

最近三年平均		最近三年平均	
青森	三四・六四	群馬	二〇・二四
滋賀	二九・一三	奈良	一九・五三
宮城	二五・二五	徳島	一八・〇二
熊本	二四・二〇	茨城	一七・九〇
		愛媛	一六・二六
		新潟	一四・二一
		平均	一六・八五

静岡	三二・一〇	群馬	二〇・二四	茨城	一四・二一	新潟	一一・五七	宮崎	七・九七
青森	三一・三九	福島	一九・五三	奈良	一三・九八	愛媛	一〇・九八	鳥根	六・九一
福岡	二六・二六	佐賀	一八・八五	北海道	一三・八五	福井	一〇・七六	京都	五・八三
大分	二四・八二	長崎	一七・二九	北陸	一三・四八	和歌山	一〇・四四	石川	五・四五
宮城	二二・四九	秋田	一六・九六	千葉	一二・八六	島根	一〇・二四	長野	五・四一
熊本	二一・八八	栃木	一六・三四	愛知	一一・九一	岐阜	八・八三	富山	五・二一
滋賀	二〇・四二	徳島	一六・二九	三重	一一・七五	神奈川	八・七〇	平均	一四・一七

の状況を示し、最近三年の平均によれば、全國平均以上は静岡、青森、福井、大分、宮崎、熊本、滋賀、福島、群馬、佐賀、長崎、秋田、栃木、徳島、茨城の諸府縣小學兒童なり。

四、小學校「トラホーム」の累年消長

次に小學校「トラホーム」の消長を見るに、前記各種検診成績並に左表にも明なるが如く、二十年前に比し著しく減少し、更にそれ以前に比すれば(日本に於ける「トラホーム」の分布並に消長参照)殆んど二分の一に降れり。

全國小學校兒童「トラホーム」患者表 (文部省統計)

小學校	計		明治四		明治四		大正		大正		大正		大正		大正	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
計	三・三	三・三	三・三	三・三	三・三	三・三	三・三	三・三	三・三	三・三	三・三	三・三	三・三	三・三	三・三	三・三

新潟縣下の消長も大體本邦と同じく(各種検診成績並に別表参照)殊に明治三十六年本病豫防の目的を以て制定せられたる眼病調査會の調



査報告によれば、小學校三四%以上を算したりしもの最近三ヶ年平均にては一・五七%に降り當時の略三分の一に低下せるは慶すべし。

更に小學校の低學年と高學年との比較を見るに男女共高學年に進むに従ひ遞減し、にも男は女よりも著しく少なきを見るべし。

五、學年「トラホーム」患者割合 (新潟縣昭和二年調査)

新潟縣小學兒童 (十一ヶ町村) 計	小						高等小學		合計%
	一年%	二年%	三年%	四年%	五年%	六年%	一年%	二年%	
男	二・九五	二・〇六	四・五三	二・八七	九・九三	一〇・九	一〇・九	四・五	二・〇六
女	一・七・六	一・五・八〇	三・〇六	一・四・九	一・三・六	一・六・四	七・三	一・三・四	一・五・〇三
計	二・五・四	三・〇・〇	三・三・三	三・三・三	二・六	三・四	九・九	五・六	二・三・七

小學校の學年の進むに従ひ其罹病率を減せること前述の如くなるが、此の關係を更に明瞭に顯はせるは、小學校と中等學校との罹病率比較表なり(別表弧線参照)。即小學と中學との間には罹病率に格段の差あり(大正十三年小學校一三・四八%中等學校六・一八%師範五・五一%實業學校六・六五%専門學校二・三三%)、中等學校以上に及べば其差比較的少なし。

六、小學校「トラホーム」と地理的關係

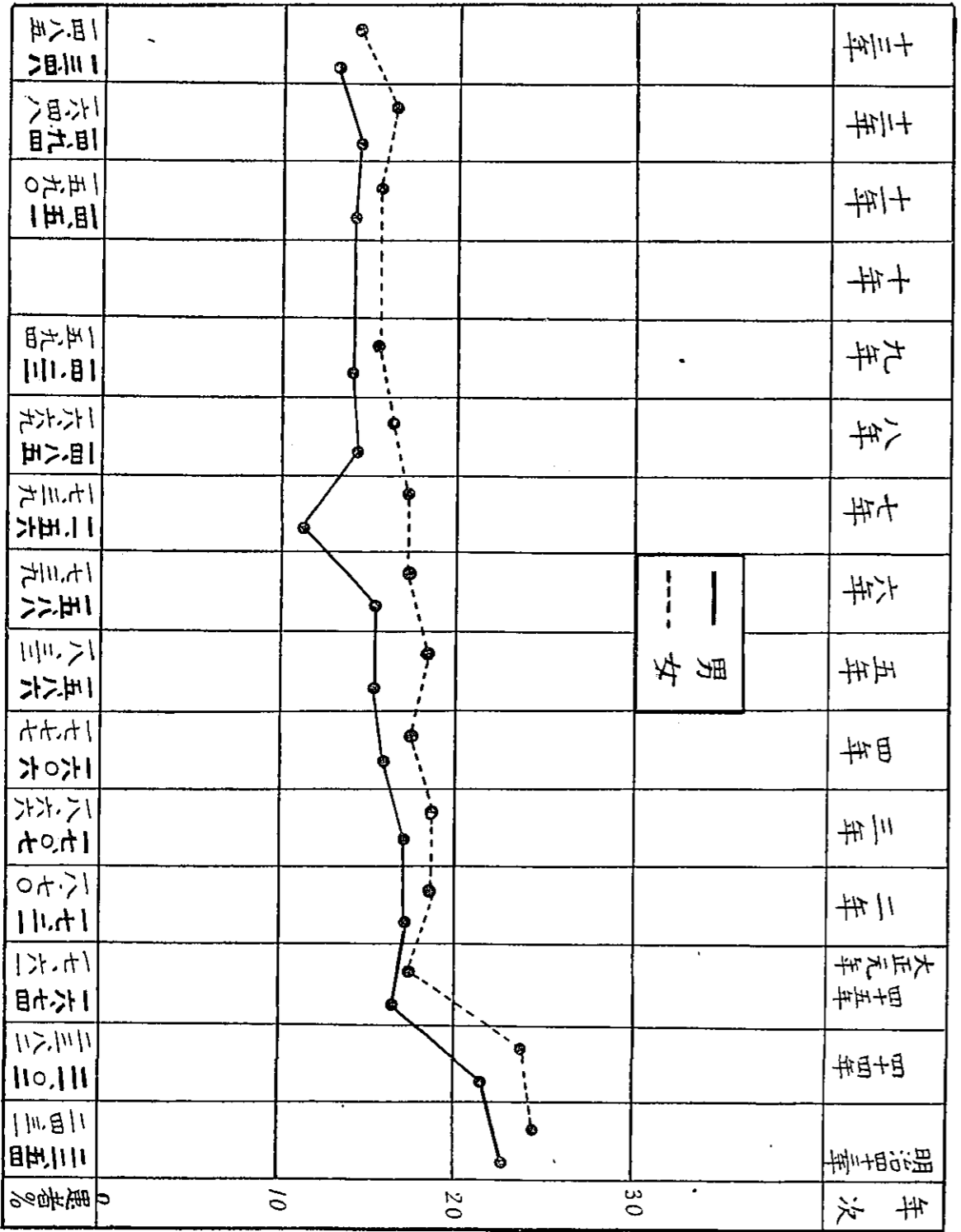
尙地理的關係と小學兒童の「トラホーム」の分配を見るに、山地最も少なく平地之れに次ぎ海岸最も多く、更に町部、農村、漁村に分ては漁村最高率を示し、農村最も少なきこと一般「トラホーム」の分布と異なる處なし。

第二、中等以上學校

學校程度上りて中等學校以上に及べば急に罹病率減少すること前述の如く(別紙各表参照)なるが、更に之れを學校別に見れば、高等女學校は中學に比して罹病率高きこと小學校女兒が男兒より高きと選ぶ處なく、實業學校は中學校より稍高率を示せり之れ家庭の關係より然るものなるべく(例外ありとするも)、更に上級の學校に至りては學校別に大なる軒差あるを見ず、又罹病率も極めて低し。

中等以上學校「トラホーム」の消長を見るに左表の如く、中學校、高等女學校、其他中等學校は明治四十三年以來著しく減少せるも、専門學校並に直轄學校に至りては一地一限大なる變化を示さず、蓋し何れも早や知識階級且又成年以上なれば學校生活其のもの、影響を受くこと殆んど之れなく、主として家庭其他社會的事情に左右せらるゝが爲なるべし。

本縣下中等學校に於ては大正元年是低率なりしもの大正二年三年に至り急に増率せり、之れ學校増設に伴ひ從來中等教育を受けざる程度のもの一時に入學したる爲と見るべく爾來大なる波動なく而も概して遞減し居れり。







府縣別	二十年		十年		大正十三年		大正十四年		大正十五年		三少年合計	
	人口	患者數	人口	患者數	人口	患者數	人口	患者數	人口	患者數	人口	患者數
合 計	七、七六〇	四、〇六六	七、〇七五	五、〇五五	六、八三三	四、〇四一	六、八三三	四、〇四一	八、〇〇〇	五、〇〇〇	七、七六〇	四、〇六六
香 川	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
愛 媛	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
高 知	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
大 分	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
佐 賀	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
熊 本	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
宮 崎	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
鹿 兒 島	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
沖 縄	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇

小學校、下ラホーム、暴年消長表 (新 潟 縣)

郡市別	二十年		十年		大正十三年		大正十四年		大正十五年		三少年合計	
	人口	患者數	人口	患者數	人口	患者數	人口	患者數	人口	患者數	人口	患者數
新 潟 市	三、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇
長 岡 市	一、〇〇〇	三〇〇	一、〇〇〇	三〇〇	一、〇〇〇	三〇〇	一、〇〇〇	三〇〇	一、〇〇〇	三〇〇	一、〇〇〇	三〇〇
高 田 市	一、〇〇〇	三〇〇	一、〇〇〇	三〇〇	一、〇〇〇	三〇〇	一、〇〇〇	三〇〇	一、〇〇〇	三〇〇	一、〇〇〇	三〇〇

列 島	北 蒲 原		東 蒲 原		中 蒲 原		西 蒲 原		南 蒲 原		三 島		古 志		北 魚 沼		南 魚 沼		中 魚 沼	
	計	女	計	女	計	女	計	女	計	女	計	女	計	女	計	女	計	女	計	女
計	三、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇
女	一、〇〇〇	三〇〇	一、〇〇〇	三〇〇	一、〇〇〇	三〇〇	一、〇〇〇	三〇〇	一、〇〇〇	三〇〇	一、〇〇〇	三〇〇	一、〇〇〇	三〇〇	一、〇〇〇	三〇〇	一、〇〇〇	三〇〇	一、〇〇〇	三〇〇